令和７年度　衆議院海外派遣　計画書

令和７年８月６日

衆議院ポーランド、ドイツ及びフランス経済産業事情等調査議員団
団　長　山　岡　達　丸

１．団名
衆議院ポーランド、ドイツ及びフランス経済産業事情等調査議員団

２．目的
ポーランド、ドイツ及びフランスの産業事情及び我が国との貿易並びに国際連携を通じた核融合の研究開発等に関する調査のため

３．派遣議員団

団　長	経済産業委員会	理　事	山岡	達丸君（立憲）
	同	理　事	山崎	誠君（立憲）
	同	委　員	東	徹君（維新）
	同	委　員	福重	隆浩君（公明）
	同	委　員	辰巳	孝太郎君（共産）

同　行　　衆議院経済産業調査室次席調査員　加藤　　博

４．派遣期間
令和７年８月２３日（土）から２９日（金）までの７日間

５．派遣国
ポーランド、ドイツ、フランス

６．主な調査内容
（１）ポーランド
①ポーランド及びウクライナと我が国とのビジネス環境改善や更なる友好親善に向けた取組状況、ウクライナ情勢の鎮静化を見据えた今後の活動方針等について、在ポーランド日本商工会及び在ウクライナ日本商工会と意見交換を行う。

②下院エネルギー・気候・国家資産委員会を訪問し、エネルギー政策、エネルギー安全保障等の在り方について意見交換を行う。

③2016 年から三菱電機が 49%出資しているメドコム（MEDCOM : 鉄道車両、電気バス、水素燃料電池バス向け電機品の製造、販売等の事業を展開）を訪問し、両社の強みを生かした事業展開の状況や相乗効果等を調査するため、同社の製造工場を視察する。

（２）ドイツ

バイエルン州において展開されている世界初の商業プロジェクトであるゲーレッツリート地熱事業（中部電力が約 40%出資）における次世代型地熱発電等の研究、開発への取組状況について視察する。

（３）フランス

①マルセイユ大港湾における、これまでの重化学工業の集積地から、エネルギー転換（沖合の浮体式洋上風力、太陽光発電・パネルの生産、水素の輸送等)、デジタル・データの産業拠点への変革に向けた取組状況について視察する。

②次世代エネルギーとして期待されるフュージョンエネルギーの実現に向けた国際約束に基づく核融合実験炉 ITER（イーター）計画の進捗状況を視察するとととともに、日本産業界からの貢献についての調査、我が国企業からの出向職員との意見交換を行う。

７．派遣日程（別添）

（別添）航空便等の行程の詳細については、掲載を省略している。

（注）**派遣計画書は事情により、内容に変更が生じる場合があります。詳細な内容については帰国後に作成・掲載される報告書概要、報告書を御参照ください。**